公益社団法人 日本技術士会
The Institution of Professional Engineers, Japan

第10号

「群馬県支部会報」

発 行
平成 29 年9月 20 日
公益社団法人 日本技術士会
群馬支部 広報委員会

ごあいさつ

支部長メッセージ

技術動向について、会報第10号の発行にあたり

公益社団法人 日本技術士会
群馬県支部 支部長
眞下 寛治（機械部門）

日本経済新聞が実施した 2016 年の世界シェア調査では、対象 57 品目のうち、11 品目(リチウムイオン電池向けセパセータ、産業用ロボット、炭素繊維、リチウムイオン電池、CMOS センサ、マイコンなど)で日本が首位でした。

IoT、人工知能、ロボティクスなどのテクノロジーの技術革新が急速に進んでおり、様々なモノがインターネットに繋がる IoT デバイスの増加が見込まれています。同時にサイバー攻撃や情報漏洩などの対応が益々必要です。

次世代自動車、サービスロボット、パワーデバイス、ゲノム医療などが次世代有望分野として取り組みが進められています。

技術士として益々活躍する場が増えていると思います。いっしょに頑張っていきましょう。

今後の群馬県支部の活動にご期待戴くと共に皆様方からのご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し

ごあいさつ

委員長新任にあたり

幹事 広報委員会 委員長
二川 真士（機械部門）

今年度より広報委員長を拝命することになりました二川です。支部設立時から長期にわたって委員長を務められた辺見様には、支部報発行から支部 HP の資料作成･更新まで広報全般にご尽力いただき心より感謝いたします。(辺見様は引き続き支部役員として総務委員をご担当されます)

広報委員会は、今後新しいメンバー(→裏面)で担って参ります。まだまだ不慣れで十分な対応ができないケースも予測されますが、時代に変化に即して、支部会員の皆様にタイムリーな情報をお伝えして参りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

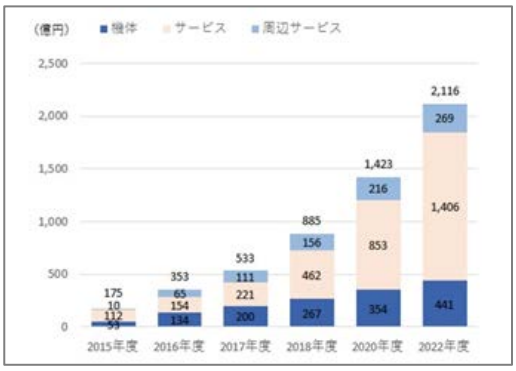
技術 Topics

『ドローン技術の動向』

二川　真士（機械部門）

今年２月と５月に、一般社団法人群馬県技術士会との共催で開催した「UAV(ドローン)活用セミナー」では、共に百名を超える参加者があり、県内でもドローンに関する関心の高さがうかがえました。今回は、最近何かと話題に挙げるドローンに関するビジネス動向及び技術的課題についてお伝えします。

2016 年度の日本国内のドローンビジネスの市場規模は 353 億円とされ、2015 年度の 175 億円からほぼ倍増しています。特徴としては、ドローンビジネスの中心が趣味から業務活用に大きく舵が切られたことが挙げられます。さらに、2022 年度には 2,116 億円(2016 年度の約 6 倍)にまで達すると予測されています。特に、ドローンを活用したサービス市場の伸びが大きく、中でも設備点検･インフラ点検･リモートセンシング･災害調査といった分野での広がりが見込まれています。



（出典：インプレス総合研究所「ドローンビジネス調査報告書 2017」）

一方、ドローンに関する今後の技術的課題としては、「航行時間」「非 GPS 環境下での測位と安定」「電波の長距離伝達や安定性」「セキュリティ」が挙げられます。

- 「航行時間」…バッテリーの制限により航行時間が 20～30 分に限られるが、航行距離を伸ばしたいというニーズが高い。これに対して、バッテリー自体の改良に加え、燃料電池の活用、固定翼型のドローン開発等が進められている。
- 「非 GPS 環境下での測位と安定」 …橋梁やトンネルといったインフラ点検での活用や、工場や倉庫などの室内でのドローン活用の期待が高まっており、非 GPS 環境下での測位や安定に対しての開発要望が高い。
- 「電波の長距離伝達や安定性」…SIM のドローン搭載が実験的に行われており、法制度を含めた実用化に向けた展開が期待されている。
- 「セキュリティ」…活用の場面が増えるにつれて、オペレーターや機体の認証･ハッキング･データ改ざんといった脆弱性対策への重要度が高まりつつある。

※参考：「ドローンが描くビジネスの未来」ドローン･ジャパン　取締役会長　春原久徳

新　任

幹事新任にあたり

幹事　広報委員会　委員
小池　広明（建設部門）

■県民の方々に知っていただきたい！
「技術士って？」･･･もう少しでよいから、
知っていただけるよう役割を全うしたいと思います。

■当会に所属していない技術士の方々に知っていただきたい！
県下には、優秀な方々が大勢いらっしゃいます。しかし、技術士の使命の1つ「公益的な役割や活動」に力を発揮できているか疑問です。もう少し力を合わせられるよう働きかけてまいりたいと思います。

群馬県支部会報　　第１０号　　公益社団法人　日本技術士会

広報委員会　委員長　二川真士（機械／総合技術監理）
委員　大谷（おおや）　恵（さとし）（機械）
委員　小池広明（建設／総合技術監理）